

# 交流で広がる友情の輪

本別町との友好の歴史

明治三十年に、当時の徳島県那賀郡立江村（現在の小松島市）の人々が、村長の東條儀三郎を団長として、北海道十勝国中川郡本別町（現在の本別町勇足）に入植し、冬には氷点下三十度以上にもなる極寒の北の地で、うっそうとした原始林を切り開き、その苦勞のうえに、現在の本別町の礎



を築きました。

先人の素晴らしい功績を深く心に刻み、その誇りある歴史を語り継ぎながら、小松島市の発展につなげるため、平成十三年に小松島市市制五十周年記念式典及び本別町開町百周年記念式典において、



年記念式典において「小松島市・本別町友好都市提携調印式」を行い、両市町間の将来に向けた友好とまちの発展を誓い、本格的な交流が始まりました。

## 小松島市・本別町 友好都市宣言締結書

小松島市と本別町は、互いに友好・親善の絆を一層深め、各分野にわたる交流を促進するとともに市政・町政の進展と住民福祉の向上を期するため、小松島市市制施行50周年、本別町開町100年という節目の年を迎えたことを機会に、ここに友好都市盟約を締結する。

平成13年6月1日

ともに手を携え友好の絆で  
未来を創る交流を

小松島市の市制施行七十周年記念にあたり、心からお祝い申し上げます。

御市と本町は、小松島市市制施行五十周年記念、本別町開町百年記念というお互いの大きな節目の年に友好都市提携の調印が交わされ、以来二十年を迎えました。この間、公的・民間問わず、教育、文化、経済などさまざまな分野において活発な交流が行われていたところであり、その絆はますます強固なものとなっています。

これまで築き上げてきたこの強いつながりは、双方にとって非常に大きな財産であり、たとえ今後高い壁に直面した場合であっても、必ずや大きな力となって問題の解決に貢献していただけるものと確信しています。今後も一層の友好、親善が図られ、相互理解が深まることにより、市政、町政の進展と住民福祉の向上につながることを期待しているところです。

今後も小松島市民のみならずより多大なるご指導とご支援をお願い申し上げますとともに、小松島市のさらなるご発展と、市民のみならず、ますますのご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、お祝いのごあいさついたします。

本別町長 高橋 正夫



児童の交流

友好都市宣言の締結よりも前の平成二年十二月から、小松島市立立江小学校と本別町立勇足小学校の間で、児童やその保護者を中心に、交通や学校紹介のビデオレター、郷土絵画の交換による学習交流が行われています。

また、夏には勇足小学校からの訪問団を迎え、冬には本別町へ立江小学校の児童が訪問し、真夏の四国や厳寒の北海道で、未体験の自然にふれながら、それぞれの地域の特色や



文化を学んでいます。両市町の多くの児童とその保護者が、この交流によって「友情の輪」を広げています。



両校は、平成五年十二月に姉妹校の締結を行い、今日まで交流を続けています。今後も市内の他の学校も、この交流に参加し、「友情の輪」が大きくなるような取組みを進めていきます。

この「友情の輪」の活動は、歴史の糸で深くつながる両校の児童が交流を深めることで、先人の苦勞と努力を学び、それぞれのまちの将来を担う貴重な人材として、成長してほしいとの願いも込められています。

住民の交流

立江小学校と勇足小学校との交流をきっかけにして、今までに市民・町民相互の交流も、様々な分野で幅広く続けられています。

小松島市の「港まつり」や本別町の「きらめきタウンフェスティバル」や「山溪つじ祭り」などのお祭りや各種イベントにおいては、それぞれのまちの新鮮な特産品のPRと販売を行い、多くの人々に親しまれています。また、多くの市民・町民が両市町を訪れ、経済や文化、観光資源や産業を通して交流を深めています。



小松島市の発展のための交流

そのほかに、両市町は職員の交流研修を実施し、両市町間の友好関係の発展や、市民・団体交流のための橋渡しを担っています。

今後も、相互の友好関係を深めるのはもちろんのこと、交流を通じて小松島市の歴史や文化、魅力ある観光資源をPRするための環境づくりや情報発信を積極的に行いながら、本別町との交流を続けます。

